

## 令和5年度第3回(第37期)浜松市社会教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年3月18日(月)午後3時から4時30分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第3委員会室
- 3 出席状況
- |      |   |
|------|---|
| 委員   | 晝馬るみ委員、近藤潤子委員、中村朋子委員、<br>松井里華委員、飛田ひさ子委員、村上剛委員、<br>澤根緑委員、山本巖委員、李受眞委員 |
| 事務局  | 鳴野文化振興担当課長、加藤生涯学習担当課長、<br>中村生涯学習推進グループ長、袴田指導主事、<br>石塚主任             |
| 欠席委員 | 松本孝久委員  |
- 4 傍聴者 1人(一般:0人、記者:1人)
- 5 議事内容
- 第37期浜松市社会教育委員会「重点協議テーマ」について
    - 地域学校協働活動の進捗状況報告
  - 生涯学習推進大綱について
  - 生涯学習事業について
    - 地域学校協働活動ボランティア講座について
    - 生涯学習講師スキルアップ講座について
    - 浜松市と大学との連携事業について
  - 令和6年度社会教育関係団体の補助金について
- 6 会議録作成者 創造都市・文化振興課生涯学習推進グループ  
袴田陽太
- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

## 8 会議記録

1 開会

2 議事

(1) 第 37 期浜松市社会教育委員会「重点協議テーマ」について

■事務局より資料 1 に基づき、地域学校協働活動の進捗状況について報告

■意見・感想、質疑応答

(飛田ひさ子委員)

地域の子供を育てる活動の一環として医師から、地域の子供たちのために健康について等の勉強会をしたいという相談を受けた。このケースも含め、子供たちのために何かをしたいという地域からの声があった場合、それをいかすためには、どの機関に相談すればよいのか。

(事務局)

社会教育の場において勉強会等を行うならば、協働センターに相談してもよい。学校教育の場において勉強会を行うならば、学校もしくは学校運営協議会の長や委員に地域の声として伝える方法があるのではないかと。学校支援コーディネーターに伝えことも一つである。

(飛田ひさ子委員)

子供たちのために何かしたいと思ったとき地域の声を伝える場を知らない方は多いのではないかと。相談のあった医師に伝えたい。

(事務局)

協働センターで行う講座であれば、当課に情報をもらえれば、各協働センターに案内することもできる。先日、税務署から租税教室の実施について相談があったところである。

(村上剛委員)

地域学校協働活動に関する協働センター等へのアンケート結果を見ると、学校運営協議会・学校支援コーディネーターから協働センターへ学校支援活動等に関する相談の有無について約半数は相談したことがないとある。

(事務局)

協働センターが学校支援活動をサポートすることに関して引き続き学校や学校運営協議会、特に学校支援コーディネーターに周知していきたい。協働センター等の職員には、学校支援活動のサポートを含め地域学校協働活動に関する研修機会を設けていきたい。

(晝馬委員長)

リモートで協働センターの職員に行った研修の反響を教えてください。

(事務局)

地域学校協働活動について徐々にではあるが、理解は深まっているのではないかと。引き続き、現場からの声を聞くとともに研修の機会を設けていきたい。

(晝馬委員長)

地域学校協働活動ボランティア講座成果報告会で北部協働センターの活動を知った。子供たちを巻き込みながら地域が変わっていく様が素晴らしかった。こうした事例を横展開してほしい。

(事務局)

北部協働センターを含め、他の協働センターでも地域ぐるみで子供たちを育てる事例を研修会等で横展開していきたい。

(晝馬委員長)

令和6年度、本市において全校で学校運営協議会が設置されると聞いている。コミュニティ・スクールとともに地域学校協働活動が一層推進されることを期待する。

■地域学校協働活動ボランティアについて制度名を生涯学習ボランティアへ変更することについて承認いただいた。

(2) 生涯学習推進大綱について

■事務局より、生涯学習大綱改訂に向け、これまでの経過、改訂の背景、今後の予定について説明

■意見・感想、質疑応答

(山本巖委員)

生涯学習推進大綱は、本市の教育全体に関わることだと思うが、総合教育会議との関係について聞きたい。以前、本市でも教育委員会が社会教育を所管していたが、現在は教育委員会との接点がありませんように感じる。生涯学習推進大綱の中に、総合教育会議の考え方をしっかり入れたほうが良いのではないかと。

(事務局)

総合教育会議には、生涯学習担当課長が出席しており、課内で情報共有している。教育総合計画においても生涯学習分野の充実が謳われているところであり、整合性をとっていきたい。

(山本巖委員)

今後の総合教育会議の内容についても、この場で報告してほしい。

(事務局)

承知した。

(中村朋子委員)

企画課のアンケート結果から、生涯学習について重要度が高いが、実感が低いという報告を受けたが、ことについてどのように捉えているか。

(事務局)

生涯学習というものが、イメージしにくいので実際自分にあてはめると実感が低くなるのではないかと。

(中村朋子委員)

生涯学習環境を整え、充実感を得られるようにしていく事が重要な事であると思う。

(晝馬委員長)

大綱の改定に向けてこの委員会で議論するテーマを絞ったほうが良いのか。

(事務局)

今後の調査結果などを基に意見をいただきながらまとめていきたい。議論のテーマについては色々な学びがあるので、それぞれについて皆さんの意見を聞きたい。

(李受眞委員)

生涯学習推進大綱改定に向けた生涯学習に関する意識活動実態調査の対象者は、どの様になっているか。

(事務局)

無作為標本抽出で行う予定。それとは別に現場の担当職員に対するヒアリングを開始している。

(李受眞委員)

対象者もそれぞれの立場によって、生涯学習に対する意識や取り組むことが変わっていくと思う。

(事務局)

年齢や地域等によって考え方に違いがある。来年度末頃には、最終形に近いものを提示させていただきたいと考えている。

(飛田ひさ子委員)

生涯学習というと、どうしても主に高齢者が対象というイメージがある。それに加えて現役世代が学びたいと思ったときに学べる環境があるとよい。

(事務局)

生涯にわたって行うのが生涯学習。文化やスポーツも含まれる。それらが統括された大きな枠のなかで、全ての世代が学べる環境をつくっていきたい。

(村上剛委員)

協働センターの利用者は減っているが、利用者数は曜日ごとに違うと思う。学びの場所がないと思っている人達に向けてPRしていく事も必要だと思う。そうしたことにより若い世代の利用者を増やすことも必要。

### (3) 生涯学習事業について

■事務局より、地域学校協働活動ボランティア講座、生涯学習スキルアップ講座、浜松市と大学との連携事業について説明

■意見・感想、質疑応答

(山本巖委員)

地域学校協働活動ボランティア講座の参加者募集に対する、実績はどうか。

(事務局)

参加者は、第1回の講座では40名弱だった。他の講座は、20名前後の参加者である。募集に対する参加者は、定員を下回っている。地域学校協働活動ボランティア講座の周知を地域・学校に向けて一層していきたい。

(晝馬るみ委員長)

地域学校協働活動ボランティア講座のチラシをみたが、目的や誰を対象にしているのか、何をやる講座か分かりにくかった。講座の内容はよかったので、何を目的としているのかを分かるチラシをつくってほしい。

(事務局)

承知した。

(松井里華委員)

地域学校協働活動ボランティア講座成果報告会で外国人の子供たちを支援する講座があることを知った。PTAの広報誌を作っているが、広報誌は日本語で書かれているため外国人の保護者に読んでもらえないことが課題になっている。外国人の保護者も日本人同様働いている人が多いので登校時の旗振りも大変だと聞く。外国人の支援は地域ぐるみで行う必要性を感じている。

(事務局)

地区によって違うが、自治会ぐるみで支援を行っているところもある。

(松井里華委員)

旗振りはPTAで課題になっている。横断歩道の渡り方など子供と学べる勉強会

があると良いと思う。

(澤根緑委員)

旗振りだが、私の地区では週2で自治会等が担当している。保護者の担当は週3になっているため、保護者の負担が軽くなっている。保護者の負担を軽くするには、自治会の連合会長に相談するのもよいのではないか。

(飛田ひさ子委員)

地域の中には企業もある。企業も社会貢献の一環として巻き込んでいけると良いと思う。

(事務局)

交通安全の日は、企業や高校生が手伝ってくれている地区もある。地区や企業によって違うと思うが、可能性はあるのではないか。

#### (4) 令和6年度社会教育関係団体の補助金について

- 事務局よりプレゼン資料に基づき、社会教育関係団体の補助金について説明
- 意見、質疑応答なし

(晝馬委員長)

社会教育団体への交付補助金について承認させていただく。

### 3 連絡事項

- 事務局から以下の内容について連絡  
各種表彰について

- ・第76回優良公民館文部科学大臣表彰（富塚協働センター）
- ・令和5年度優良公民館等静岡県教育長表彰（和地協働センター）
- ・令和5年度子供を育む地域活動団体県教育長表彰（細江文化協会陶芸部、イズミウルトラキッズラボ、子育てサークルぴおーねくらぶ）

### 4 閉会